

# デジタルアーカイブ推進の これまでの取組と今後の進め方について (案)



2024年3月1日  
内閣府知的財産戦略推進事務局

# これまでの取組（デジタルアーカイブジャパンの推進）について

- デジタルアーカイブが日常的に活用され、多様な創作活動を支える「デジタルアーカイブ社会」の実現を目指し、各分野のアーカイブ機関と関係府省庁が連携し、アーカイブの構築・共有と利活用促進に向けた取組みをデジタルアーカイブジャパンとして推進。

期待効果

- 新たな知の創出、文化の保存・継承・発展
- コンテンツの二次利用・二次創作や国内外への情報発信の促進
- 教育、研究、観光、地域活性化、防災、ヘルスケア、ビジネスなど、様々な分野における利活用

## 推進体制の整備／先進機関におけるアーカイブ化促進

- 2015 デジタルアーカイブの連携に関する関係省庁等連絡会／実務者協議会の開催
  - ・デジタルアーカイブ推進の方向性とまとめ（2017年4月）
  - ・デジタルアーカイブ構築・共有・活用ガイドラインとまとめ（2017年4月）

## 統合ポータルの整備と運用の開始／分野間のアーカイブ連携促進

- 2017 デジタルアーカイブジャパン推進委員会／実務者検討委員会の開催
  - ・3か年総括報告書 我が国が目指すデジタルアーカイブ社会の実現に向けてとまとめ（2020年8月）
  - ・実務者検討委員会及びワーキンググループの議論の経過等についてとまとめ（2023年9月）
- 2018 デジタルアーカイブアセスメントツール 公表（2018年4月）
- 2019 デジタルアーカイブにおける望ましい二次利用条件表示の在り方について 公表（2019年4月）
- 2020 **ジャパンサーチ（正式版）公開（2020年8月）**
  - デジタルアーカイブのための長期保存ガイドライン（2020年8月）

## ジャパンサーチを核としたデジタルアーカイブの拡充・利活用の促進等

- 2021 ジャパンサーチ戦略方針2021-2025 公表（2021年9月）
- 2022 ジャパンサーチ・アクションプラン2021-2025 公表（2022年4月） 各分野の工程表公表（同7月）  
デジタルアーカイブジャパン・アワード 創設（同8月）
- 2023 「デジタルアーカイブ活動」のためのガイドライン／アセスメントツール（ver3.0）公表（2023年9月）
- 2024 デジタルアーカイブ戦略懇談会／デジタルアーカイブ推進に関する検討会の開催

フェーズ0

フェーズ1

フェーズ2

## ミッション

### デジタルアーカイブを日常にする

デジタルアーカイブが持つ三つの価値を最大化し、  
デジタルアーカイブが日常に溶け込んだ豊かな創造的社会的実現を目指す

デジタルアーカイブが持つ三つの価値と  
その最大化のための4つのアクション及び  
16の目標（ジャパンサーチアクションプラン）

記録・記憶の  
継承と再構築

支える

- ✓ 学び・遊び体験の支援
- ✓ キュレーション活動の支援
- ✓ コンテンツ連携・ひと連携の支援
- ✓ DAの長期保存の支援

コミュニティを支える  
共通知識基盤

伝える

- ✓ DAの集約・整理と継承
- ✓ 活用情報の共有
- ✓ 構築情報の共有
- ✓ 魅力の発信

新たな社会ネット  
ワークの形成

広げる

- ✓ デジタル化推進・DAの充実
- ✓ 人材の発掘・ファンの増加
- ✓ 地域連携の拡充
- ✓ 利用環境の整備とコンテンツ増加

挑む

- ✓ オープン化の推進
- ✓ 新たな可能性の創出
- ✓ 新たなコミュニティの構築
- ✓ 社会のDX化の推進

デジタルアーカイブ社会の  
実現に向けて取り組む課題

#### デジタルコンテンツの拡充

メタデータ整備  
デジタル化推進  
ポーンデジタル保存  
長期保存 等

#### オープン化の促進

権利処理促進  
二次利用条件整備  
Web公開 等

#### つなぎ役の役割推進

アーカイブ機関支援  
地域アーカイブ支援 等

#### 広げ役の役割推進

利活用促進  
(事例共有 WS コミュニティ支援)  
利用者支援 等  
(新サービス 相談窓口)

#### 人材育成・意識啓発

広報活動 等

## デジタルアーカイブを取り巻く環境変化

### <コロナ禍の影響>

### ※デジタルアーカイブの役割の再認識

- テレワークや遠隔授業等の増加によるアーカイブ化されたデジタル資料等の需要増
- 公的機関の所蔵資料へのインターネットを通じたアクセスニーズの顕在化
- 過去コンテンツの利用ニーズの高まり
- コンテンツ流通・配信のデジタルシフトの加速
- 多様なUGCの創作・発信の増加

### <デジタル技術の進展>

### ※情報資産としての価値向上

- DXの加速
- デジタル資源のグローバルな流通
- デジタルアーカイブの連携と横断的な利用による新たな価値創造の拡大
- 良質で管理されたデータセットとしての価値の高まり

## デジタルアーカイブ推進の方向性

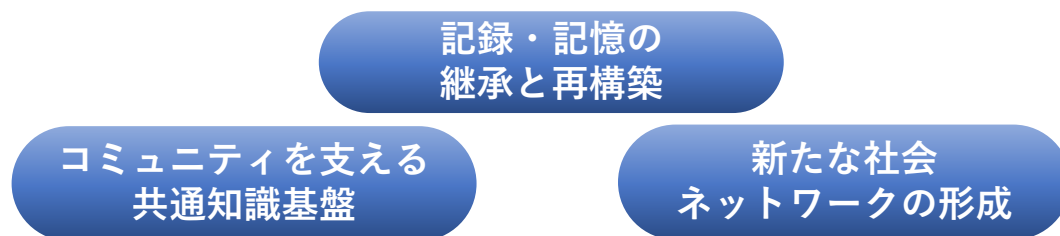
- 従来からのデジタルアーカイブの拡充等（継続性）と、新たな裁定制度の導入を見据えた利活用の促進等（発展性）の両面について、関係府省庁・機関等が協力・連携しながら推進する。

→（継続性）文化資産・学術資料等コンテンツのアーカイブ化のより一層の充実

→（発展性）コンテンツ情報の見える化や、権利情報との適切な連携により、利活用の促進等に向けた取組の推進

## 理念

- コンテンツ分野のプラットフォーム戦略として、ジャパンサーチを基軸としつつ、各アーカイブ機関等におけるデジタルアーカイブの拡充・利活用の促進に取り組む。
- デジタルアーカイブが持つ三つの価値を最大化し、デジタルアーカイブが日常に溶け込んだ豊かな創造的社会的実現を目指す。



※ジャパンサーチ戦略方針2021-2025（2021年9月）より

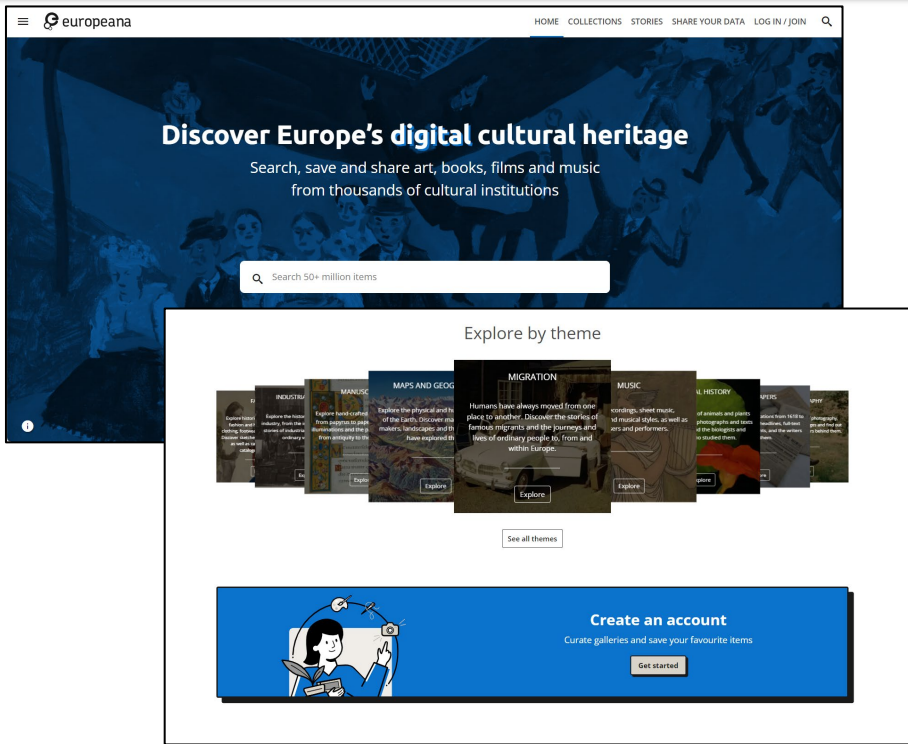
## 活動方針

- (1) 従来からのデジタルアーカイブに関する取組をより一層促進する。
  - デジタルコンテンツの拡充と維持管理、及びジャパンサーチとの連携拡大
  - 利活用の促進
  - つなぎ役・助け役の支援
  - 意識啓発・人材育成
- (2) アーカイブ化された多様なコンテンツ資産のフル活用による新たな価値創造の活性化を推進する。
  - R5改正著作権法の施行に伴い構築することが検討されている分野横断権利情報検索システムとジャパンサーチの連携
  - 権利情報の付与及び商用コンテンツも含めたコンテンツ情報の見える化と、それら情報の適切な連携
  - 良質で管理されたデータセットとしてのデジタルアーカイブの新たな価値への対応

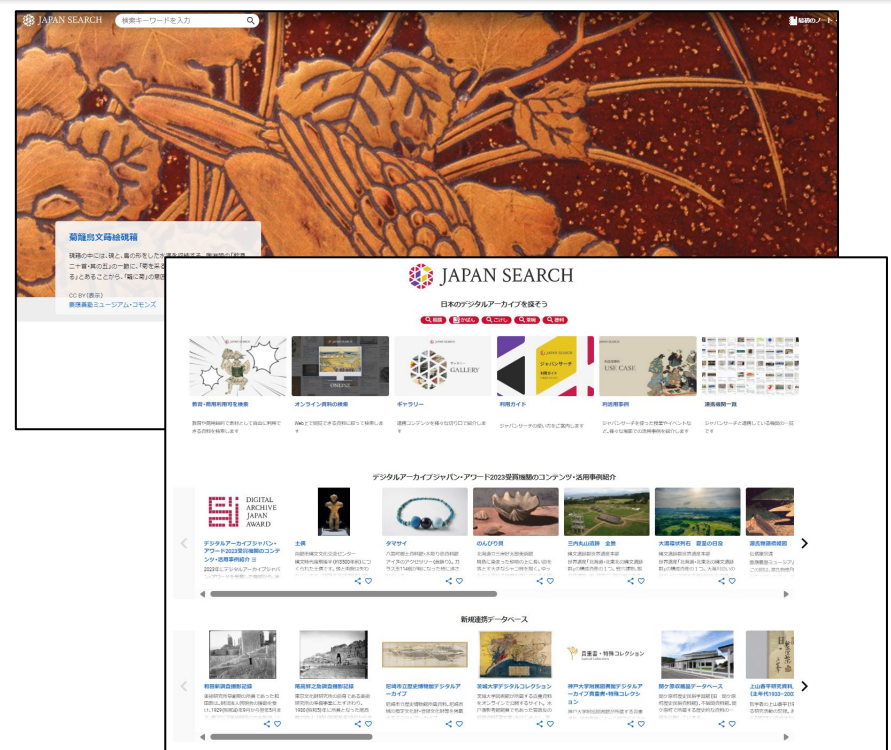
# ジャパンサーチ連携を中心とした当面の推進対象範囲

国立・政府関係機関等	地方公共団体 公立・公共機関等	私立機関 民間事業者等	個人制作物・ コレクション等
文化財			
美術			
メディア芸術			
映画			動画
	放送番組		静止画
書籍等			
公文書			
人文学			
自然史／科学技術史			
その他	統計資料 災害資料 地域資料 ←----- 学術資産（研究論文・研究機関資料等） -----→		
主な例	方言・オーラルヒストリー		従来からの 取り扱い対象        新たに検討が 考えられる対象
	即時オープンアクセスが実現する学術論文等		
	商用コンテンツ ※商用流通しているコンテンツのうち文化資源としての価値が高いもの等 企業・団体アーカイブ		

# (参考) Europeana推進テーマとジャパンサーチ連携分野



Europeana トップページより



ジャパンサーチトップページより

## Europeana 推進テーマ

- 考古学
- 美術
- ファッション
- 産業遺産
- 原稿
- 地図と地理
- 移住（旅と生活）
- 音楽
- 自然史
- 新聞
- 写真（写真家）
- スポーツ
- 第1次世界大戦

## ジャパンサーチ連携分野

- 文化財
- 美術
- メディア芸術
- 映画
- 放送番組
- 書籍等
- 公文書
- 人文学
- 自然史・科学技術史
- その他

# 国の関係機関等のデジタル化の状況（文化・学術系の主なもの）

特に記載のあるもの以外  
2024年2月現在

**未確定（作業中）**

## 資料の収集・保存（メタデータ整備・デジタル化）

分野	収蔵機関	収蔵資料数	メタデータ整備				コンテンツのデジタル化		備考		
			目録情報数	うち、サムネイル数	権利者情報の付与数(※1)	権利者意思情報の付与数(※2)	パブリックドメインの数	2D デジタル化数(※3)		3D デジタル化数	
文化財	文化財機構	132,868	132,868	31,677	132,868	132,868	— (①)	31,677	42 (②)	①全て、「政府標準利用規約第2版」（CC BY 4.0準拠）での提供。パブリックドメインではないが、オープンデータとされる利用規約。 ②DBでの3Dデータ公開はしていない。東博の教育普及スペースでデータを活用中。	
美術	国立美術館 (国立映画アーカイブ除く)	45,573	49,978 (③)	41,030	権利者情報、権利者意思情報は別途管理しているため、メタデータには付与していない。		算出困難 (④)	41,030	0	③複数で一揃いの作品を個別に数えている場合があるため、収蔵資料数を超過している。 ④作家数で言えば、作家6,118人中1,409人の作家が著作権保護期間を終えている。	
映画	国立映画アーカイブ	86,407	86,407	170	寄贈時の契約情報や、権利者情報（パブリックドメイン含め、判明している場合）については紙ベースで管理しているため、算出困難。		—	197	0		
放送番組	放送番組センター	テレビ番組約3万本 ラジオ番組約6千本 CM約1万2千本 ニュース映画約2千700件	テレビ番組約2万件 ラジオ番組約5千件 CM約1万2千件 ニュース映画約2千700件	約3万件 (放送ライブラリー館内で公開)	不明	不明	0件	約5万件	0件	・テレビラジオ番組は年間約1,200件増加（権利処理のうえ、放送ライブラリー館内で年間約700件を追加公開） ・CMは年間約300件増加（放送ライブラリー館内で追加公開）	
	日本放送協会	番組・番組関連 約114万件	約114万件	ほぼ同数	不明	不明	不明	約114万件	—	・放送事業者として内部再利用を主目的にデータ整備。再利用時には、別途権利処理などが必要。	
書籍等	国立国会図書館	46,855,998点 R4年度末時点 (⑤)	27,569,063件 R4年度末時点 (⑥)	3,396,021件	権利者情報、権利者意思情報は別途管理しているため、メタデータには付与していない。		1,998件 (⑦)	513,196件	3,724,790点	0	⑤図書や雑誌のほか、マイクロ資料、映像資料、録音資料、外国で刊行された出版物、複本（複数冊所蔵している本）等を含んでいる。一方、ポーンデジタル資料は含まれていない。 ⑥目録情報数の半分以上（14,513,821件）は、所蔵資料数と異なる単位で作成されたもの（論文・記事単位で作成されたもの）である。 また、ポーンデジタルの資料も一部含んでいるため、収蔵資料数との単純比較はできない。 ⑦電子版博士論文（ポーンデジタル資料）に限られ、学位授与機関がメタデータの「注記」にCCライセンスの権利情報を付与した博士論文の点数。 【今後のデジタル化の見通し】 ・令和5年12月現在、約370万点の所蔵資料がデジタル化済み。 ・2000年までに国内で刊行された図書約170万点のうち、約70万点がデジタル化されており、令和6年度以降、これらのデジタル化を進める予定である。
公文書	国立公文書館	約165万冊	約165万冊	約144万画像	0	0	0 (⑧)	約41万冊	0冊	・2023年3月31日現在（資料数は国立公文書館デジタルアーカイブで提供する特定歴史公文書等の概数、サムネイル数は画像数）。 ⑧デジタル化したコンテンツを「パブリックドメイン」としては提供していないが、インターネットを通じて利用することができます。	
人文学	人間文化研究機構	5,612,562	5,612,562	0 (⑨)	5,612,562	5,612,562	0	5,612,562	0	⑨サムネイル数について、nihuBridge（人間文化研究機構および連携機関が保有する研究資源の統合検索システム）上には存在しないが、人間文化研究機構を構成する各機関のデータベースに、サムネイルは存在している。	
自然史 科学技術史	国立科学博物館	5,004,294	5,004,294	357,450	357,450	357,450	0	357,450	45	3Dデータは「剥製3Dデジタル図鑑“Yoshimoto 3D”」から公開 ジャパンサーチへは、サイエンスミュージアムネットを経由してメタデータのみを連携している	

(※1) 権利者情報とは、コンテンツの権利者名と連絡先を指す。連絡先は、電話番号やメールアドレスのほか、窓口となる機関名も含む。  
 (※2) 権利者意思情報とは、コピーライト表記、CCライセンスやRightsStatementsの表示、利用不可や利用に関する連絡先など、権利者の意思が認識できる情報。  
 または、それらがwebサイト等、ユーザーが認識できる場所に表示されている場合も含む。  
 (※3) 音声データ等は2Dデジタル化に含む



## 資料の利用（データベース化・web公開）

分野	収蔵機関	メタデータweb公開		コンテンツWeb公開			データベース（DB）の名称 その他
		web公開数	うち、 ジャパンサーチ 連携数	web公開数（※4） （コンテンツ 到達可能数）	うち、 限定公開数	うち、 ジャパンサーチ 連携数	
文化財	文化財機構	132,479	132,479	31,677	0	31,677	ColBase：国立文化財機構所蔵品統合検索システム （国立文化財機構傘下機関）
美術	国立美術館 （国立映画アーカイブ 除く）	46696 ⑩	46,696	31,088	0	26,030	所蔵作品総合目録検索システム連携各館DB （国立美術館傘下機関／国立映画アーカイブ除く）  ⑩複数で一揃いの作品を個別に掲載している場合があるため、収蔵資料数を超えている。
映画	国立映画アーカイブ	8,073	7,983	170	0	80	所蔵映画フィルム検索システム 映像でみる明治の日本 関東大震災映像デジタルアーカイブ 日本アニメーション映画クラシック フィルムは記録する - 国立映画アーカイブ歴史映像ポータル -
放送番組	放送番組センター	テレビ番組約2万件 ラジオ番組約5千件 CM約1万2千件 ニュース映画約2千700件	3,700件 （テレビ番組2,897件 ラジオ番組803件）	0件	0件	0件	放送ライブラリー
	日本放送協会	約30,000	約4,000	約30,000の 動画クリップ	0	約4,000件	NHKアーカイブス
書籍等	国立国会図書館	29,634,614件	10,000,421件 ⑪	3,724,790点	3,219,987件 ⑫	3,522,708件	全国書誌 国立国会図書館デジタルコレクション 日本関係外国図書の書誌情報（試行版）  ⑪ジャパンサーチとの連携データベースである「全国書誌」「国立国会図書館デジタルコ レクション」「日本関係外国図書の書誌情報（試行版）」を合算した数。書誌の重複あ り。 ⑫個人送信サービス対象資料も含まれる。
公文書	国立公文書館	約165万冊	約165万冊	約41万冊	0冊	約41万冊	国立公文書館デジタルアーカイブ
人文学	人間文化研究機構	5,612,562	5,143,113	5,612,562	469,449	5,143,113	nihuBridge連携各館DB （人間文化研究機構傘下機関）
自然史 科学技術史	国立科学博物館	2,529,839	1,064,193	357,450	0	0	標本・資料統合データベース

（※4） web公開について、会員限定・期間限定・有償公開など、ID・パスワード等でアクセスコントロールをしているものも含めて総数を記載し、内数として限定公開数を追記。

## (参考) ポータルサイト

(2024年2月現在)

サイト名	運営	連携データベース数	連携メタデータ数	web公開数 (コンテンツ到達可能数)	うち、限定公開数
文化遺産オンライン	文化庁	3	291,863	280,065	0
サイエンスミュージアムネット	国立科学博物館	492	7,379,601	94,685	0
アートプラットフォームジャパン	国立アトリサーチセンター	4	169,485	169,485	0
ジャパンサーチ	デジタルアーカイブ推進に関する検討会	222	29,437,653	8,080,997	2,937,883

## (参考) 目録情報データベース (検索システム)

(2024年2月現在)

サイト名	運営	連携機関数	連携メタデータ数
全国美術館収蔵品サーチ「SHŪZŌ」	国立アトリサーチセンター	164	162,150
メディア芸術データベース	国立アトリサーチセンター	9	786,190
Japan Contents Catalog	VIPO	7	日本語：117,956 英語：111,687 中国語：4,168

# (参考) ジャパンサーチの連携機関、連携データベース等の状況

46連携機関 (つなぎ役) 222データベース メタデータ約2940万件 (2024年2月1日現在)

関係省庁等	分野 [つなぎ役機関等]	主なデータベース名	メタデータ 件数	web公開数 (コンテンツ到達可能数)	到達率
文化庁	文化財 [「文化庁」] [国立文化財機構ほか3機関等]	「Tokyo Museum Collection」、「文化遺産オンライン」、「文化財デジタルコンテンツダウンロード機能」「ColBase 国立博物館所蔵品統合検索システム」、「Keio Object Hub」等	820,744件	383,182件	46.7%
文化庁		美術 [国立美術館ほか5機関等]	「ARC浮世絵ポータルデータベース」、「国立美術館所蔵作品総合目録検索システム」、「写真原板データベース」、「愛知県美術館コレクション」、「大阪市立東洋陶磁美術館収蔵品画像オープンデータ」等	693,732件	379,718件
文化庁、 経済産業省	メディア芸術 [メディア芸術データベースほか4機関等]	【マンガ・アニメ・ゲーム・メディアアート】 ※マンガのメタデータ件数は書籍等に含まれる 「日本アニメーション映画クラシックス」、「Japan Content Catalog」から「JACCクリエイター検索」、「メディア芸術データベース」等	282,664件	51,477件	18.2%
文化庁		【舞台芸術】 「演劇上演記録データベース」、「ARC番付ポータルデータベース」等	250,350件	138,427件	55.3%
文化庁	映画 [国立映画アーカイブほか1機関等]	「国立映画アーカイブ所蔵映画フィルム検索システム」、「上田市マルチメディア情報センター (動画)」、「映像でみる明治の日本」等	186,582件	57,341件	30.7%
総務省等	放送番組 [NHK、放送番組センター]	「動画で見るニッポンみちる」、「放送ライブラリー公開番組データベース」、「文化財動画ライブラリー」等	83,106件	5,158件	6.2%
国立国会図書館	書籍等 [国立国会図書館]	「国立国会図書館サーチ (NDLサーチ)」から「国立国会図書館デジタルコレクション」、「デジタルアーカイブ福井」、「佐賀県立図書館データベース」、「神戸大学附属図書館デジタルアーカイブ新聞記事文庫」等	13,314,845件	1,785,964件	13.4%
内閣府	公文書 [国立公文書館ほか2機関等]	「国立公文書館デジタルアーカイブ」、「埼玉県立文書館収蔵資料検索システム」、「和歌山県歴史資料アーカイブ」等	4,304,557件	1,393,142件	32.4%
文部科学省 文化庁	人文学 [人間文化研究機構ほか6機関等]	【人文学】 「人間文化研究機構情報基盤システム nihubridge」から54件のデータベース、「ARC古典籍ポータルデータベース」、「渋沢栄一関連会社名・団体名変遷図」、「東京大学学術資産等アーカイブズポータル」、「京都大学研究資源アーカイブ」から3件のデータベース、「國學院大学デジタルミュージアム」等	5,610,306件	2,103,599件	37.5%
国土地理院、 海上保安庁		【地図】 「古地図コレクション」「海図アーカイブ」	57,422件	15,678件	27.3%
文化庁	自然史・理工学 [国立科学博物館ほか4機関等]	「サイエンスミュージアムネット (S-Net)」、「魚類写真資料データベース」、「地質標本データベース」、「動物行動の映像データベース」、「南方熊楠邸資料：蔵書、標本、文書」、「蚕織錦絵コレクション」、「生糸標本資料」等	6,721,723件	353,902件	5.3%
文化庁、 観光庁ほか	その他 [27機関等]	【地域】 「三重の歴史・文化デジタルアーカイブ」から19件のデータベース、「にいがた 地域映像アーカイブ データベース」、「埼玉県立の博物館収蔵資料データベース」、「信州デジタルコモンズ」から3件のデータベース、「とっとりデジタルコレクション」、「なんじょうデジタルアーカイブ」、「Tokyo Museum Collection」、「広島平和記念資料館 平和データベース」、「北海道デジタルミュージアム」、「上田市立博物館収蔵品」等	1,015,345件	359,630件	35.4%
総務省、 デジタル庁		【統計】 「データカタログサイト」等	22,944件	—	—

※つなぎ役機関の中には複数分野にわたるものもあることから、全分野の機関数の計と全体計 (46機関) は一致しない。

# (参考) ジャパンサーチの分野別つなぎ役機関の状況

(2024年1月12日現在)

分野		機関							
文化財	文化庁	国立文化財機構	東京都歴史文化財団						
美術	国立美術館	全国美術館会議	日本写真保存センター	立命館アート・リサーチセンター					
メディア芸術	国立美術館	早稲田大学坪内博士記念演劇博物館	EPAD	立命館アート・リサーチセンター					
映画	国立美術館								
放送番組	日本放送協会	放送番組センター							
書籍等	国立国会図書館								
公文書	国立公文書館								
人文学	人文学	国立文化財機構	人間文化研究機構						
	地図	国土地理院	海上保安庁						
自然史・自然科学史	国立科学博物館	地質調査総合センター	東京農工大学学博物館	大阪市立自然史博物館					
その他	地域	北海道	青森県	栃木県	埼玉県	東京都歴史文化財団	富山県	県立長野図書館	上田市
		関ヶ原町	三重県	和歌山県立文書館	鳥取県	大分市	南城市教育委員会	新潟大学	尼崎市
	大学	山形大学附属博物館	新潟大学	東京大学	京都大学総合博物館	慶應義塾大学	國學院大學 研究開発推進機構		
	統計	デジタル庁							
	その他	映像産業振興機構	渋沢栄一記念財団	縄文遺跡群世界遺産本部	南方熊楠顕彰館	広島平和記念資料館			

※青字の機関は、複数分野にまたがるつなぎ役機関

## デジタルアーカイブ戦略懇談会

〈コンテンツ分野のデジタルアーカイブ戦略を総合的に検討・承認〉

(役割案)

- 理念・活動方針の策定
- デジタルアーカイブ推進に関する検討会における検討事項の確定
- 目指すべきビジョン等の検討・承認
- 中長期の達成目標・数値目標の検討・承認
- 各府省庁、アーカイブ機関の進捗管理
- デジタルアーカイブ推進に関する検討会の検討状況を踏まえつつ、必要に応じて予算措置について検討

## デジタルアーカイブ推進に関する検討会

〈デジタルアーカイブ戦略懇談会の要請に基づき、各種検討事項を検討等〉

(役割案)

- 目指すべきビジョン等案の作成
- 達成目標・数値目標案の作成
- 2026年度以降のデジタルアーカイブ推進計画案の策定
- ジャパンサーチの運営
- デジタルアーカイブの拡充と利活用促進に関する各種課題の検討

※ なお、産学官の連携強化、デジタルアーカイブ活動の事例共有、意見交換等を目的に、年一回開催している「デジタルアーカイブフェス」及び、デジタルアーカイブの拡充や利活用の促進に積極的に取り組む団体・個人を顕彰する「デジタルアーカイブジャパン・アワード」は、新たな推進体制の下で、継続して実施する。

# 中長期達成目標の策定について

- デジタルアーカイブ推進の取組を計画的に進めるために、中長期の達成目標を策定し、目標達成に向けて関係者が協力して取り組む。
- 義務化をするものではなく、アーカイブ機関関係者の活動支援を目的として策定するため、チャレンジングな目標とする。
- 定期的な進捗確認を行い、目標達成の障害や課題の解決策を検討しつつ、不断の見直しを行う。

## アーカイブ機関の設定目標イメージ

TO DO		～2025年	2030年	2035年	
アーカイブ機関	コンテンツ（デジタル・ポーンデジタル・アナログ）収集				
	メタデータ整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・所蔵資料の目録情報の整備・公開</li> <li>・権利情報（権利者情報・権利者意思情報等）付与</li> <li>・コンテンツ情報連携</li> </ul>			
	保有コンテンツの2Dデジタル化 サムネイル／高精細画像	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体</li> <li>書籍</li> <li>文化財</li> <li>美術</li> <li>メディア芸術</li> <li>映画</li> <li>放送番組</li> <li>書籍等</li> <li>公文書</li> <li>人文学</li> <li>自然史・科学技術史</li> </ul>			
	保有コンテンツの3Dデジタル化				
	コンテンツのデジタル保存（長期保存）				
	意識啓発・人材育成				
	デジタルアーカイブ（所蔵資料デジタル化）の実施館率				
	活用	コンテンツに係るweb公開			
	推進	2次利用条件整備			
		オープン化			
		海外への情報発信（多言語化含む）			

デジタルアーカイブ推進に関する検討会にて、  
 具体数値等の案を検討予定

## ジャパンサーチの設定目標イメージ

TO DO		~2025年	2030年	2035年
ジ ヤ パ ン サ ー チ	連携メタデータ数の拡大	デジタルアーカイブ推進に関する検討会にて、 具体数値等の案を検討予定		
	分野・地域アーカイブ連携拡大			
	コレクションポリシー策定			
	コンテンツ情報の見える化			
	相談窓口			
	つなぎ役拡げ役支援策実施			
意識啓発・人材育成				

### <論点>

- 関係機関等の進捗状況を評価・管理するための指標（項目・期間等）をどのように設定することが適切か。

（参考）知的財産推進計画2023 （2023年6月9日 知的財産戦略本部）

（略）今後さらに、我が国がもつデジタルアーカイブの全体を見据えた見直し・拡充を図り、デジタルアーカイブの政策推進に向けた体制を発展させていくことが必要であり、政府全体の取組について、工程を明確化し、更なる取組を計画的に推進していくことが求められる。

# デジタルアーカイブの拡充と利活用における取組事項

## 活動方針に基づく取組事項

	デジタルアーカイブの拡充	デジタルアーカイブの利活用促進
継続性	コンテンツの収集・維持管理	コンテンツのオープン化（権利処理）促進
	メタデータの整備・公開促進	利活用モデルの拡充
	コンテンツのデジタル化（2D・3D）促進	コミュニティ・ネットワークの形成促進
	つなぎ役支援策の検討	拡げ役支援策の検討（活用者支援）
	地域アーカイブの構築・共有・活用支援	
	デジタルアーカイブ活動に関する相談窓口の設置	
	人材育成・意識啓発	
発展性	JPS（ジャパンサーチ）コレクションポリシーの策定・連携拡大	コンテンツ情報の見える化促進
	ボーンデジタルコンテンツの保存	JPSと権利情報検索システムの連携
	即時オープンアクセス学術論文等との連携	アウトオブコマースの利活用促進
	良質で管理されたデータセットとしてのデジタルアーカイブの新たな価値への対応	



# 開催スケジュールと検討スケジュールについて

## 開催スケジュール（案）

	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
第1四半期		懇談会 持ち回り ※目標等の承認	懇談会 ※新戦略方針の策定	検討会
第2四半期	DAJアワード DAフェス	DAJアワード DAフェス	DAJアワード DAフェス	DAJアワード DAフェス
第3四半期		検討会	検討会	検討会
第4四半期	懇談会	検討会	懇談会	懇談会

## 第3回懇談会までの検討スケジュール（案） ※検討会での課題の検討順位は、座長と幹事役と事務局において調整

第1回 懇談会 (2024年3月1日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● デジタルアーカイブ推進の進め方</li> <li>● 理念と活動方針</li> <li>● 各会議体の役割について</li> </ul>	など
第1回 検討会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 達成目標案について</li> </ul>	など
第2回 懇談会 (持ち回り)	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 達成目標承認</li> </ul>	
第2回 検討会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コレクションポリシーの策定について</li> <li>● 相談窓口の創設について</li> </ul>	
第3回 検討会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 次期デジタルアーカイブ推進の方向性</li> </ul>	など
第4回 検討会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新戦略方針2026～素案</li> </ul>	など
第3回 懇談会	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 達成目標の進捗について</li> <li>● 新戦略方針（2026～）の策定</li> </ul>	など

# (参考) 関係府省庁・機関における取組状況(R5予算額・補正・R6当初予算案)

取組み内容	R5予算額	R6当初予算案
<p><b>文化遺産</b> &lt;文化庁&gt;</p> <p><b>文化遺産オンライン構想の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 文化遺産オンラインサイトの充実</li> <li>● 国指定等文化財の設計図や写真等のデジタルアーカイブ化推進</li> </ul>	1.0億円	1.0億円
<p><b>文化財</b> &lt;文化庁&gt;</p> <p><b>(独) 国立文化財機構のデジタルアーカイブ関連経費</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● e-国宝の運営等</li> <li>● 所蔵品統合検索システム (ColBase) の運営等</li> </ul>	交付金 96億円の内数	交付金 96億円の内数
<p><b>美術</b> &lt;文化庁&gt;</p> <p><b>(独) 国立美術館のデジタルアーカイブ関連経費</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 所蔵作品総合目録検索システムの運営等</li> <li>● 映画・フィルムの収集・保存のためのデジタル化</li> <li>● 歴史的映像デジタルアーカイブ構築事業 (映画アーカイブ)</li> <li>● 全国美術館収蔵品サーチ「SHŪZŌ」の構築等</li> <li>● 「メディア芸術データベース」の整備・運用・活用 等</li> </ul>	交付金 77億円の内数	交付金 80億円の内数
<p><b>文化芸術</b> &lt;文化庁&gt;</p> <p><b>Innovate MUSEUM事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 博物館資料のデジタルアーカイブ化及び公開・発信</li> <li>● 業務のDXによる学芸員の業務負担軽減</li> </ul>	1.0億円	0.6億円
<p>令和5年度補正 <b>クリエイター等育成・文化施設高付加価値化支援事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● クリエイター等の作品や資料等のデジタルアーカイブ化を含めた文化施設の次世代型の機能強化支援</li> </ul>	補正 3年 15億円	

**メディア芸術**

**<文化庁>**

**メディア芸術連携基盤等整備推進事業**

- 作品・資料等の保存・利活用、人材育成などの課題解決に取り組むスキームの創出
- 各研究機関等のアーカイブ化支援

メディア芸術創造・発信プラン  
7.3億円の内数

メディア芸術創造・発信プラン  
9.0億円の内数

**舞台芸術**

**<文化庁>**

**舞台芸術のデジタルアーカイブ・配信**

- 芸術性の高い舞台芸術作品の収集・保存・公開（配信）
- 収録技術提供による啓発活動
- 教育パッケージ事業
- アクセシビリティの向上

令和5年度補正

**舞台芸術のデジタルアーカイブ・配信**

- 芸術性の高い舞台芸術作品の収集・保存・公開（配信）
- 収録技術提供による啓発活動

補正  
5億円

舞台芸術等総合支援事業  
94億円の内数

**書籍等**

**<国立国会図書館>**

**デジタルアーカイブ事業の拡充に必要な経費**

- 所蔵資料のデジタル化
- 入手困難資料の個人への送信サービスの向上等
- 視覚障害者等用データ送信サービスのコンテンツ増大
- AIの活用によるテキスト化の推進

令和5年度補正

**デジタルアーカイブ事業の拡充に必要な経費**

- 所蔵資料のデジタル化（2000年までに国内で刊行された図書）
- 電子書庫等の機能向上

4.9億円

5.4億円

補正  
52.5億円

**公文書** <内閣府>

**(独) 国立公文書館のデジタルアーカイブ関連経費**

- デジタルアーカイブのシステム運用等経費
- 国立公文書館収蔵資料デジタル化
- アジア歴史資料センターデータベース作成

交付金  
24.1億円の内  
数

交付金  
25.7億円の内  
数

**人文学** <文部科学省>

**(独) 人間文化研究機構の情報基盤システム運用・推進に関する経費**

- 情報基盤システムの運用・開発
- ジャパンサーチ（デジタルアーカイブ事業）連携等

配分額未確定

配分額未確定

**自然史・科学技術史** <文化庁>

**(独) 国立科学博物館のデジタルアーカイブ関連経費**

- 標本・資料統合データベースの運営
- デジタル技術を活用したアーカイブ化推進 等

交付金  
28億円の内数

交付金  
29億円の内数